

教科	芸術	科目	美術 I			単位数	2 単位
学科	普通科 工業科	履修 学年	1 学年	コース		必修・選択	必修
教科書	美術 I (光村図書出版株式会社)						
副教材等							

学習目標	美術の幅広い創造活動を通して、美的体験を豊かにし美術を愛好する心情を育てるとともに、感性を高め、創造的な表現と観賞の能力を伸ばし、美術文化についての理解を深める。			
指導の重点	基礎的な表現技能の習得を基盤として、作品制作における自己表現を重視する。			
学習 計画	学期 (時数)	学習項目	学習内容 (学習活動)	評価方法
	1 学期 (20)	・鑑賞 (4) (鑑賞) (6) ・平面構成 (表現/デザイン) ・切り抜きステンド (10) (表現/デザイン)	・作家の表現する空間の情景 や心情などを捉え、表現を味 わう。 ・抽象的な平面構成。 ・平面空間の装飾的な構成を 考える。	・美術における表現 行為の意味を感じ取 れたか。 ・色彩・構成を工夫 して表現できたか。
	2 学期 (24)	・コラージュ (6) (表現/デザイン) ・鋳金 (6) (表現/デザイン) ・木工 (8) (表現/デザイン) ・デッサン (4) (表現/絵画・彫刻)	・特徴の異なる素材を用い て、表現の構想を練る。 ・素材に適した立体的デザイ ンを表現する。 ・対象を注意深く見つめて、 特徴を描く。	・素材の特性を生か し、表現できたか。 ・多くの特徴を発見、 描画できたか。
	3 学期 (20)	・版画 (10) (表現/デザイン) ・自画像 (10) (表現/絵画・彫刻)	・動植物や人類の文化をモチ ーフとした装飾的な版画。 ・1年の集大成として自画像 (外見のみならず思考や 趣向や経験も含む) を描く。	・細密な凹版表現が できたか。 ・自分を見つめ、現 在の心情を描くこ と ができたか。

計64時間（55分授業）

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む姿勢
<p>評価基準と 評価方法</p>	<p>創造的な表現をするために材料・用具を生かして表現する技能を身に付けようとしている。</p>	<p>感性を働かせて美術のよさや美しさを感じ取り、豊かに発想し創造的に表現を工夫しようとしている。</p>	<p>美術を愛好し、表現の主題や形式などに幅広く関心を持ち、感性を高めて意欲的、主体的に表現や鑑賞の活動を行い、その喜びを味わおうとしている。</p>
	<p>[評価方法]</p> <p>以上の観点を踏まえ、小テストの成績、授業中の態度・発表、毎時間の作品やワークシート等の提出物、学習記録用紙などから総合的に判断し、達成率が80%以上をA、79～50%をB、50%未満をCと評価する。</p>		